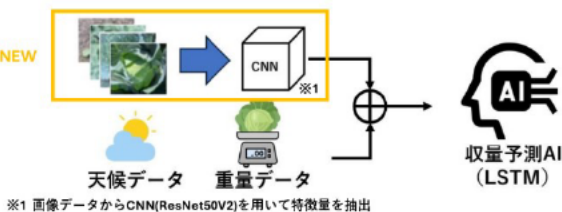


会社概要

当社は、1973年の設立以来、高知県を拠点にシステムコンサルティング、システム開発・保守、ネットワーク構築、データセンター運用など、幅広い情報サービスを提供し、創業から50年以上にわたり、地方自治体、民間企業、医療機関、学校など多様な分野のデジタル化に貢献してきた。
また、地域の課題解決に取り組んでおり、近年は、**農業や商店街活性化など、地域の産業に根ざした分野でのDX**にも力を入れている。

取組① AIで実現する収穫予測の効率化

施設園芸の現場では、収穫の約1か月前に出荷量を確定する必要がある一方で、生育状況の判断が熟練者の経験に依存しており、作業負担や精度が課題だった。
こうした背景から、当社は **NEW** 株式会社南国スタイルおよび高知工科大学と連携し、**AIを活用した収穫予測に取り組んでいる。**



まずは、画像データ・気象データ・収穫重量データを組み合わせたAI予測モデルの構築を開始。初期段階では、**ドローン空撮やトラクター走行時のカメラ撮影**など、画像取得の手法を比較し、AI解析に活用できるデータを安定して取得できることを確認した。しかし、一方で、コスト削減や省力的なデータ取得方法の必要性も明確になった。

現在は、**従来の全数調査ではなくサンプリング調査への移行を進めており**、スマートフォンによる簡易撮影でも解析可能なデータが得られる見通しが立った。これにより、作業負担を抑えつつ、**質の高いデータを継続して収集できる運用方法として期待が高まっている。**



重量を計測しサンプリングしている様子

取組② データ活用で商店街の企画力向上

帯屋町商店街では、来街者数や回遊状況といった基礎データが整備されておらず、テナント誘致やイベント企画の判断が経験に依存していた。こうした課題に対し、商店街組合が導入した**AIカメラの人流計測データを活用し、時間帯別・曜日別の来街者の傾向を可視化する環境整備を支援した。**これにより、商店街の状況を**定量的に把握できるようになり**、来街者数が最も伸びるタイミングを選んでイベントを企画するなど、**データに基づいた判断が可能となった。**また、各店舗でも同様に、来街者の年齢や性別に合わせたメニュー改善などにつながり、すでに**一部の店舗では売上向上の報告も出ている。**今後は、こうした商店街DXの知見を蓄積しながら、地域の商店街が抱える課題に柔軟に対応できる仕組みとして整理し、**全国的な横展開も視野に検討を進めている。**



DX認定を通じた体制整備と実践の成果

当社はDX認定の取得を通じて、社内外でさまざまな効果を得ている。社内ではDX推進の重要性が共有され、**経営方針の整理や体制整備が進んだことで、DXの取り組みを進めやすい環境が整った。**認定取得のプロセスを通じ、自社の方向性を見直す機会が得られた点も大きい。
社外においても、DXに積極的に取り組む企業としての姿勢が明確になり、企業イメージの向上につながっている。特に、**採用活動では、学生や求職者が企業を選ぶ際の判断材料となり、関心を持ってもらえる場面が増えている。**
こうした取り組みの積み重ねが評価され、当社が進めてきた**DXの実践が一定の成果を上げていることが認められた結果、DXセレクション2022**に選定された。受賞は、社内体制づくりや現場での実装的なDXの取り組みが外部から評価されたものであり、今後の活動を進める上で大きな後押しとなっている。

企業情報

- ・事業内容 ITサービス事業
- ・所在地 高知県高知市一ツ橋町1丁目36番地
- ・電話番号 088-825-3571 (代表)
- ・ホームページ <https://www.jokan.co.jp/>

四国情報管理センター株式会社